

2018年11月6日
アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会
三井不動産株式会社
国立大学法人東京大学産学協創推進本部
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ
日本ベンチャー学会

AI/IoTのまちづくりが進む柏の葉キャンパスで開催された

「アジア・アントレプレナーシップ・アワード2018」

スマートカーットの企画・開発を提供するIMAGR LTDが優勝

https://aea.events/j/aea2018_winners/

今年で第7回目を迎える「アジア・アントレプレナーシップ・アワード2018(以下:AEA2018)」は柏の葉キャンパス(千葉県柏市)にて、2018年10月31日(水)~11月2日(金)の3日間にわたり開催されました。アジアを中心に13の国・地域から選出された、AI/IoTまたはメディカル/ヘルスケアの技術系ベンチャー20社が、事業の革新性、経済的・社会的影響力、事業の実行力、日本の大企業との連携の可能性から審査され、今年は、スマートカーットの企画・開発を行う、ニュージーランドのIMAGR LTDが、事業のスケラビリティと大企業による関心が高く、優勝しました。



グランプリを受賞したIMAGR LTD



入賞企業の集合写真

政府が2018年6月に発表した「未来投資戦略2018」※では、人口減少や少子高齢化などの様々な社会課題を解決するため、AIやIoTの社会実装および、次世代ヘルスケア・システム構築の必要性が挙げられています。AEA2018は、AI/IoTやメディカル分野における新産業創造のまちづくりが進む柏の葉キャンパスにおいて開催され、AI/IoTおよびメディカル/ヘルスケアの事業領域に絞り選抜されたベンチャー企業がアジア各国から参加しました。

柏の葉キャンパスのまちづくりに役立つ技術・製品・サービスの採用を検討する「柏の葉賞」は、ヒラソル・エナジー株式会社が受賞し今後、柏の葉キャンパスでのサービス導入が積極的に検討される予定です。

また、第7回目となる今回は、昨年の準優勝企業であるViSenze社による講演や、「過去出場企業の今」に

関するスペシャルセッションが開催されました。

ViSenze 社は AEA への出場をきっかけに、共催企業である三井不動産とのマッチングが行われ、その後、三井不動産が提供する「&mall」アプリにおいて技術が実装されております。

このように AEA では、今回より審査基準に「日本の大企業との連携の可能性」を追加し、Visenze 社のように AEA 出場をきっかけとしてアジアのベンチャー企業が日本での事業展開に具体的進展が見られるよう積極的に支援し、アジアのイノベーション創出におけるエコシステム構築を目指します。

※参照：[首相官邸「未来投資戦略 2018」](#)

■今年の受賞企業一覧

優勝	IMAGR LTD (ニュージーランド) / 代表者：WILLIAM CHOMLEY スマートカートの企画・開発
準優勝	Brain Beat, Ltd. (ロシア) / 代表者：EDVARD KRYZHANOVSKII 糖尿病患者向けの非侵襲的な血糖値セルフモニタリング機器を開発
第 3 位	ヒラソル・エナジー株式会社 (日本) / 代表者：李 旻 太陽光発電所向けの IoT プラットフォームを提供
柏の葉賞	ヒラソル・エナジー株式会社 (日本) / 代表者：李 旻 太陽光発電所向けの IoT プラットフォームを提供
日本ベンチャー学会賞	Value and Trust Co., Ltd. (韓国) / 代表者：PAUL ROE 脊椎を正しい形状に維持するソリューションを開発
IP Bridge 賞	PLIMES 株式会社 (日本) / 代表者：鈴木 健嗣 人工知能が嚙下を測るウェアラブルデバイス「GOKURI」を提供
オーディエンス賞	IMAGR LTD (ニュージーランド) / 代表者：WILLIAM CHOMLEY スマートカートの企画・開発

<各賞の内容>

- ・ 優勝企業：賞金 100 万円
- ・ 準優勝企業：賞金 50 万円
- ・ 第 3 位：賞金 30 万円
- ・ 柏の葉賞：賞金 15 万円および柏の葉キャンパスにおける採用検討
※賞金の授与に加え、受賞企業の技術・製品・サービスを、柏の葉の街づくりコンセプトへの適合性、実装可能性から判断して採用を検討します。
- ・ 日本ベンチャー学会賞：賞金 5 万円
※日本ベンチャー学会より、問題解決が最もチャレンジングで、アントレプレナーシップ（“起業家精神”）に満ち満ちたチームに対し授与されます
- ・ IP Bridge 賞：2018 年末までの知財戦略立案支援

※超高齢化社会に貢献し、提供プロダクトが日本における実装可能性を秘めているベンチャーに対し、IP

Bridge による知財戦略立案支援（2018 年末までにビデオ会議最大 3 回まで）、および技術紹介動画作成（諸条件をクリアし双方合意した上でのオプション）のサービスが贈られます。

上記の受賞企業各社には副賞として、三井不動産が運営する 31VENTURES オフィスのコワーキングスペース 使い放題プランを 2 年間 3 名様に進呈する「31VENTURES 賞」がつきます。

・オーディエンス賞：ファイナルセッションにて、観客からの投票にて決定。副賞等はありません。

■ AEA2018 11 月 1 日開催風景

中国、韓国、台湾、タイのノミネーション委員による各国のベンチャー事情の紹介が行われました。また、エントリー企業へのメンタリングセッションや柏の葉スマートシティをめぐるツアーが開催され、スペシャルセッションである「AEA2017 準優勝企業：ViSenze 社（シンガポール）CEO Oliver Tan 氏による講演」では、AEA 参加をきっかけとした日本企業との連携事例が紹介され、本年エントリー企業は熱心に聞き入りました。

ーメンタリングセッション



ースペシャルセッション



ーネットワーキングパーティ



■ AEA2018 11月2日開催風景

最終日は、セミファイナルセッションと、そこを勝ち抜いた6社によるファイナルセッションが行われ、迫力あるプレゼンテーションが繰り広げられました。また、ノミネーション委員によりAEAの「過去出場企業の今」を紹介するトークセッションや、本年、AEA共催者でもある日本ベンチャー学会より、大学発ベンチャー表彰2018「日本ベンチャー学会会長賞」を受賞したiHeart Japan株式会社 代表取締役 角田 健治氏による特別講演が行われました。

ーセミファイナルセッション

エントリー企業による10分間のプレゼンの後、10分間の質疑応答を行いました。



ーファイナルセッション

セミファイナルを勝ち抜いた6社によるプレゼンテーションをもとに、ベンチャービジネスに精通しグローバルに活躍するジャッジ4名によって最終審査が行われました。

ファイナルセッション進出企業：Ningbo Gexin New Energy Technology Co., Ltd. (中国)、Onward Health (インド)、ヒラソル・エナジー株式会社 (日本)、Value and Trust Co., Ltd (韓国)、IMAGR LTD (ニュージーランド)、Brain Beat, Ltd. (ロシア)



フェアウェルレセプション

関係各者によるスピーチのほか、入賞企業の発表と表彰が行われました。



協賛・後援企業一覧

プラチナスポンサー：グローバル・ブレイン株式会社、株式会社日立製作所

ゴールドスポンサー：新日本有限責任監査法人、株式会社東京大学エッジキャピタル

シルバースポンサー：株式会社電通、株式会社 IP Bridge、森・濱田松本法律事務所、日本ベンチャーキャピタル株式会社、三井住友信託銀行株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社

後援：経済産業省、文部科学省、内閣府、千葉県、柏市、ちば国際コンベンションビューロー、日本経済団体連合会、科学技術振興機構、日本貿易振興機構（JETRO）、日本ベンチャーキャピタル協会、日本ライセンス協会、ベンチャーエンタープライズセンター、日本デザイン振興会、政策研究大学院大学（GRIPS）、インド大使館、ニュージーランド貿易経済促進庁、駐日ロシア連邦通商代表部、University of Sydney, Innospace, Innaway, Tsinghua University, PSG College of Technology, Science & Technology Entrepreneurial Park, Kyungpook National University, Putra Business School, Skolkovo Foundation, NUS Enterprise, Graduate Institute of Technology, Innovation & Intellectual Property Management, National Chengchi University, Foreign Trade University

共催企業・団体一覧

<三井不動産株式会社>

柏の葉スマートシティ [WEB] <http://www.kashiwanoha-smartcity.com/>

31VENTURES [WEB] <http://www.31ventures.jp/>

三井不動産は、千葉県柏市の柏の葉キャンパス駅周辺エリアにおいて、世界の課題を解決する街づくりモデルを創出することを目指し、環境共生・健康長寿・新産業創造の3つのテーマのもと、柏の葉スマートシティ事業を進めています。新産業創造においては、ベンチャー共創事業「31VENTURES」を中心に、三井不動産の持つ幅広い商圏と多岐にわたる事業領域をいかして、街全体で多世代・多分野・多国籍の人々がつながる新たな産業創造を目指しています。

三井不動産および柏の葉スマートシティでは、2012年の立ち上げ時からAEAを支援しており、柏の葉を舞台にアジアのベンチャー企業や大手企業・起業支援者が集まるイノベーション創造のエコシステム構築を進めてまいります。

<国立大学法人東京大学産学協創推進本部> [WEB] <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学産学協創推進本部は、東京大学のオリジナルな研究成果を活用し、インパクトの高いイノベーションを実現すべく、知的財産の権利化、管理・活用、起業・事業化に係る支援を行っています。具体的には、研究者・学生向けの起業相談、ベンチャー企業向けのインキュベーション施設の運営・管理事業、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社や株式会社東京大学エッジキャピタルを通じた資金提供（ベンチャーキャピタル）などを行っています。また、「東京大学アントレプレナー道場」「EDGE-NEXT」「本郷テックガレージ」などのアントレプレナー育成教育プログラムを運営しています。本アワードを通じて、グローバルな視点に立ってさらなる起業文化・アントレプレナーシップの醸成を進めてまいります。

東京大学産学協創推進本部へのお問い合わせ 各務 Tel:03-5841-1482

<一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ> [WEB] <http://www.tepweb.jp/>

TXアントレプレナーパートナーズは、つくばエクスプレス沿線を中心に起業家やベンチャー企業の支援活動を行う組織で、地域の大学、研究機関、行政、民間企業、個人支援者が連携して、持続可能なベンチャー支援のネットワーク構築を進めています。起業家が自国・地域内に留まらずアジアや世界に視野を広げる機会として本アワードを開催し、日本をはじめアジアの創業育成環境をより一層醸成していきます。

<日本ベンチャー学会> [WEB] <http://www.venture-ac.ne.jp/>

日本ベンチャー学会は、新産業創出にむけて、ベンチャー企業および一般企業における企業活動等について理論・実証・実践に関する研修を行うとともに、産学協同の推進および企業家活動の支援に寄与することを目的とします。単なる研究者だけの集まりではなく、大手企業、ベンチャー企業、行政関係者など多様な人々のネットワークを形成しながら、「思考する学会」であると同時に「行動する学会」としての機能を高め、イノベーションの創出を担う企業家活動やベンチャーに関わる社会的なプラットフォームとなることを目指しております。